

特定医療法人誠仁会

# 大久保病院だより

No. 28  
平成30年  
1月18日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684



患者サポートとは、入院や通院にかかわらず患者様およびご家族の支援を行う体制のことを言います。当院でも患者相談窓口をサポート看護師を配置し、皆様のご意見やご不満、心配事に対応させていただいております。皆様のご意見から、荷物を運ぶためのショッピングカートの導入、受付カウンターには杖が倒れないように杖フックを採用しました。今後も皆様のお声をいただき、地域の方々が利用しやすい病院づくりに努力していきたいと思っております。



皆さんから頂いたご意見の一部とお返事を掲示しています

## 大久保病院 専用駐車場ののご案内

駐車場が分かりにくいのご意見をいただきましたので、右図をご参考にしてください。



## 新しい年を迎えて



吉岡 巖 理事長

団塊の世代がすべて後期高齢者になる2025年が迫り、社会保障費は必然的に膨張することが予想されます。しかし国は財政不足を理由に社会保障費の伸びを抑制しようと考え、実行しています。このままでは、病弱者・高齢者には厳しい時代となっていく、必要かつ十分な医療が受けられなくなり、介護施設が利用できない状況が発生することが想定されます。医療・介護需要は2025年以降も増え続け2040年頃がピークと言われていますが、急性期医療の必要度は漸減し、回復期・慢性期医療が増え続

け、病院医療よりは介護施設・在宅医療への移行が進むと推測されます。このような厳しい医療環境で、急性期病院として続けていき、急性期の患者を積極的に引き受け診断・治療するためには、人材・設備に投資し、日進月歩の医療に遅れない体制を作っていかなければなりません。そして、地域の診療所・高齢者施設と連携し在宅治療の可能な患者・症状が安定した方はその病状に見合った医療・介護施設にお願いする方向でやっていこうと考えております。国も「地域包括ケアシステム」としてこの方向を押し進めていこうとしております。新しい年を迎え、大久保病院は、地域の中に存在する急性期病院として存在し続ける方向を再確認し、医療に打ち込んでいく覚悟です。

## 地域医療連携室より

日頃より大変お世話になっております。我々の務めは地域住民の皆様方の健康を支え、病気の治療を速やかに行っていくことと考えています。そのためには近隣の医療機関、施設と密接に連携を取り、情報を交換しながら、個々の患者様の最善の医療形態を提案していくことが大切です。例えば医療提供場所は病院、診療所、施設、在宅か、または緩和病棟、一般病棟、専門病棟か等です。そのためにはまず、疑問や相談のお電話をいただければと思います。また、医療機関や施設からの診察、転院、入院依頼の際には、できるだけ速やかに診察、入院手続きをと考えています。まずはお電話にてご相談ください。2018年1月より地域医療連携室に新しいスタッフも迎え、華やかになり、パワーアップしています。今後ともよろしく願いいたします。



地域医療連携室職員一同

地域医療内科医師 古谷 裕道



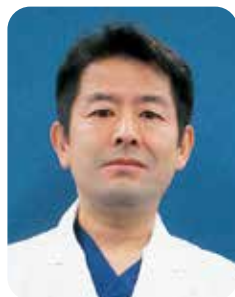
- 交通機関をご利用の方**
- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
  - 「大久保」駅北口より神姫バス
    - ②のりば 19「山手台」行き
    - ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分
- 車をご利用の方**
- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

特定医療法人 誠仁会  
**大久保病院**  
〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1  
tel. (078) 935-2563  
<http://www.seijinkai.or.jp/okubo/index.html>





## 新任医師紹介



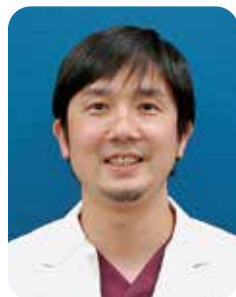
### 整形外科 浅井 重博

整形外科に非常勤医師として勤務することになった浅井重博です。私は生まれも育ちも大阪で、久しぶりに関西での勤務になります。平成11年に大阪医科大学を卒業し、大阪医科大学整形外科教室に入局、関連病院にて勤務しました。平成21年からはピッツバーグ大学整形外科に

研究留学し、膝前十字靭帯に関する研究を行っていました。

平成24年から船橋整形外科病院に勤務し現在に至ります。現在は、膝関節の診療を中心に行っており膝関節鏡視下手術を年間約200件、そのうち膝前十字靭帯再建術を約70件執刀し、変形性膝関節症の患者様には骨切り術も行っています。膝関節のけがや痛みでお困りの方は、御相談ください。

### 整形外科 福田 秀明



はじめまして、平成17年鹿児島大学卒業の福田秀明と申します。薩摩生まれの薩摩育ちで、好きな言葉は『敬天愛人』です。

わたしは 膝足など下肢中心の関節外科であり、またスポーツ整形外科を専門にしております。プロの格闘技団体やバスケットボールチームのチームドクターなども兼任させて頂きながら日々研鑽させて頂いています。

運動器の外傷や障害は、まずは適切な診断学と、リハビリを中心とした適切な保存加療が基本です。万が一、手術加療を要するようなケースで

も低侵襲での関節鏡を使用した手術を中心に治療しております。また変形性膝関節症や骨壊死などの痛みに対しても初めから人工関節に頼らず、できるだけ関節温存しながら加療できないかを検討し、人の患難を見捨てずの精神で、患者様一人ひとりの治療戦略を考えるよう心がけています。下肢は第二の心臓といわれるほど大切な部位です。下肢の外傷や障害などお困りのことがあればなんでもご相談ください。



# アットホームな保育所を目指して

## 大久保病院院内保育所の紹介

現在、保育所には5名の保育士が在籍し、日勤から当直まで様々な勤務に合わせて職員のお子さんをお預かりしています。

病院職員には、子育て中のお母さんが沢山います。「子供が小さくて離れがたい」「保育所に年度途中で入るのは難しい」等、お母さん達の不

安や子育ての悩みを一人で抱え込まない様、相談に応じたり一緒に考えたりしています。

保育所では3歳までのお子さんを預かっており、自由遊びを中心に、絵本の読み聞かせや楽器遊び、季節の歌を歌ったり、製作を通してハサミの練習、音楽に合わせて体操を楽しんだりして過ごしています。

夜勤で働く職員のお子さんには、夜中にお母さんが居なくても寂しげに眠れるよう努めています。また、食事は栄養課が用意しており、「いただきます」「ごちそうさま」の感謝のあいさつを大切にしています。

私たちが保育士は、アットホームで安心の出来る保育所を目指しています。



室内お遊戯



粘土遊び



保育士も一緒に楽しみます



クリスマス

コンサート

2017.12.16(土)

## イベント紹介

### 参加者みんなで大合唱!

毎年恒例となっているクリスマスコンサートを、当院の外來待合ホールにて開催しました。

今年はず、病棟勤務の藤山さんのマジックショーから始まり、「お札が増える」「スプーン曲げ」のマジックを披露し、参加者は食い入るように見入っていました。

次に恒例となっている山村院長の歌唱、谷水薬局長によるフルート演奏、更に今年、堀医師が17歳の時に作詞作曲し、過去に受賞経験もある一曲をギター弾き語りで情感たっぷりに歌い上げてくれました。

それぞれ、業務中では見られない違う一面を見ることが出来ました。

最後に山村院長の歌唱、谷水薬局長のフルート、ピアノ伴奏に合わせ、約60名の参加者全員で「赤鼻のトナカイ」「きよしこの夜」を合唱し、大盛況の中、幕を閉じました。

スプーン曲げの様子



熱唱中の堀医師



職員も楽しめました!

